

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36404	ファッションドローイング Drawing for Fashion Design	山縣 亮介			1	選択	1.2前期
科目の概要							
デザインイメージを的確に伝えるための描法と使用する画材特性の研究を経て作品制作を行う。技術の修得に留まらず、時代や社会が求めるファッションデザインを指向・検討し、個性と感性の開発トレーニングを重ねていく。 以上はディプロマ・ポリシーの①、②、③、④に相当し、これらを身に付けるために行う。							
学修内容			到達目標				
① デザインイメージを的確に伝えるための描法を学ぶ。 ② 使用する画材特性を学ぶ。 ③ ポーズのとり方・顔、ヘアスタイルの描き方を学ぶ。 ④ ハンガーイラストの描き方を学ぶ。 ⑤ ファッショングッズ（靴、鞆等）の描き方を学ぶ。			① デザイン画の種類と画材の特性を理解する。ディプロマ・ポリシー①に相当する。 ② デザイン画の表現技術を身に付ける。ディプロマ・ポリシー②に相当する。 ③ 個性と感性が表現出来るようになる。ディプロマ・ポリシー④に相当する。 ④ ハンガーイラストを正確に描くことが出来るようになる。ディプロマ・ポリシー③に相当する。 ⑤ ファッショングッズ（靴、鞆等）の表現が出来るようになる。ディプロマ・ポリシー③に相当する。				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標達成のために日々の精進を行うことが出来る					
	働きかけ力	自身の得手・不得手と他者のそれを相互交換し、より大きな成果を上げることが出来る					
	実行力	作品提出において計画性を持って取り組むことが出来る					
考え抜く力	課題発見力	アウトプットをする際に必ずインプットを行って課題を進めることが出来る					
	計画力	作品の提出期限に合わせて計画を立て、それを実行出来る					
	創造力	「デザインする」という作業を構成する2つの要素である「イメージの展開」と「イメージの形象化」を具体的な造形要素を用いてファッションデザインに落とし込むことが出来る					
チームで働く力	発信力	課題に対して最良の方法を用いて、考えうる最大の結果を示すことが出来る					
	傾聴力	他者の作品発表で参考になるものは自身に取り入れる姿勢をもって聴くことが出来る					
	柔軟性	他者の意見や感想を否定しないことが心理的安全性を提供出来ることを理解し、他者の考えを柔軟に受け入れることが出来る					
	状況把握力	自身の個性と他者の個性を的確に判断して行動することが出来る					
	規律性	遅刻・欠席をせず、最低限守らなければならないルールやマナーを理解することが出来る					
	ストレスコントロール力	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：プリント配布 参考文献：服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画文化服装学院編（文化出版局） ファッションデザインテクニック デザイン画の描き方 高村是州著（グラフィック社） スタイリングブック 高村是州著（グラフィック社） ファッションドローイング 矢島功著（グラフィック社） ファッションイラストレーション 画材別・基本とコツ 鄭貞子著（光琳社出版） 新版デッサン・ド・モード 女と男の新しい形を描く 長沢節著（美術出版社）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ファッションデザインや被服構成に関するすべての科目 資格との関連：なし							
学修上の助言			受講生とのルール				
普段から衣服のディテールや縫い目の位置を注視して、衣服構造の理解を深めてほしい			授業内に仕上がらなかった課題は期限内に完成させる				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
		レポート	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓					作品の完成度 ・デザイン画の種類と画材の特性を理解できたか ・デザイン画の表現技術を身に付けたか ・個性と感性が表現出来るようになったか ・ハンガーイラストを正確に描くことが出来たか ・ファッショングッズ（靴、鞆等）の表現が出来たか
				②	✓					
				③	✓					
				④	✓					
				⑤	✓					
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				(主体性) 到達目標達成のために日々の精進を行うことが出来る (働きかけ力) 自身の得手・不得手と他者のそれを相互交換し、より大きな成果を上げることが出来る (実行力) 作品提出において計画性を持って取り組むことが出来る (課題発見力) アウトプットをする際に必ずインプットを行って課題を進めることが出来る (計画力) 作品の提出期限に合わせて計画を立て、それを実行出来る (創造力) 「デザインする」という作業を構成する2つの要素である「イメージの展開」と「イメージの形象化」を具体的な造形要素を用いてファッションデザインに落とし込むことが出来る (発信力) 課題に対して最良の方法を用いて、考えうる最大の結果を示すことが出来る (傾聴力) 他者の作品発表で参考になるものは自身に取り入れる姿勢をもって聴くことが出来る (柔軟性) 他者の意見や感想を否定しないことが心理的安全性を提供出来ることを理解し、他者の考えを柔軟に受け入れることが出来る (状況把握力) 自身の個性と他者の個性を的確に判断して行動することが出来る (規律性) 遅刻・欠席をせず、最低限守らなければならないルールやマナーを理解することが出来る 欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う (ストレスコントロール力) 失敗することが成功へ近付いていることを理解し、何事にも前向きに取り組むことが出来る			
		②	✓							
		③	✓							
		④	✓							
		⑤	✓							
学修行動										
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
達成目標①～⑤を90%以上達成した場合 S(秀)とする 達成目標①～⑤を80～89%達成した場合 A(優)とする	達成目標①～⑤を70～79%達成した場合 B(良)とする 達成目標①～⑤を60～69%達成した場合 C(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイダンス ファッションデザイン画とは	講義 実習：各自クロッキー帳にプロポーションを描く 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：必要な用具を指示通り整えておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	ファッションドローイングの基礎①（ファッション体型と婦人体型）	講義 実習：クロッキー帳にプロポーションを描く 実習中巡回し チェック・個別指導	ファッション体型と一般的な婦人体型を理解出来ている	予習：クロッキー帳にプロポーションを反復練習しておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 規律性
3	ファッションドローイングの基礎②（顔・ヘアスタイル表現）	講義 実習：クロッキー帳に顔・ヘアスタイルを描く 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：クロッキー帳に顔・ヘアスタイルを反復練習しておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 傾聴力 規律性
4	ファッションドローイングの基礎③（手の表現）	講義 実習：クロッキー帳に手を描く 実習中巡回し チェック・個別指導	指と甲のバランスが理解出来ている	予習：クロッキー帳に手を反復練習しておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 傾聴力 規律性
5	ファッションドローイングの基礎④（足の表現）	講義 実習：クロッキー帳に足を描く 実習中巡回し チェック・個別指導	足の構造を理解して描くことが出来ている	予習：クロッキー帳に足を反復練習しておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 傾聴力 規律性
6	ファッションドローイングの基礎⑤（人体構造と身体の動き - ファッションアナライジング-）	講義 実習：A4用紙にアナライジングを行う 実習中巡回し チェック・個別指導	人体構造と身体の動きが理解出来ている	予習：クロッキー帳にプロポーションを反復練習しておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 実行力 計画力 傾聴力 規律性
7	クロッキー（モードデッサン）	講義 実習：様々な時間設定をしてクロッキーを行う 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：クロッキー帳にプロポーションを反復練習しておく 復習：各自時間設定をしてクロッキーを行う 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	スタイル画のプロポーション（オリジナルプロポーション作成）	講義 実習：B4用紙にオリジナルプロポーションを描く 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：クロッキー帳にプロポーションを反復練習しておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 実行力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ハンガーイラストの基礎	講義 実習：クロッキー帳にハンガーイラストを描く 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：服の構造線について学んでおく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 計画力 創造力 規律性
10	・着彩①（透明水彩、パステル、色鉛筆など）	講義 実習：デザイン画に指定された画材で着色する（B4用紙） 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：着色画材を整える 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 実行力 計画力 創造力 規律性
11	着彩②（ポスターカラー、マーカーなど）	講義 実習：デザイン画に指定された画材で着色する（B4用紙） 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：着色画材を整える 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 実行力 計画力 創造力 規律性
12	ファッショングッズ①（靴）	講義 実習：クロッキー帳に靴を描く 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：自分が持っている靴の構造を調べておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
13	ファッショングッズ②（鞆）	講義 実習：クロッキー帳に鞆を描く 実習中巡回し チェック・個別指導	説明に基づいて描くことが出来ている	予習：自分が持っている鞆の構造を調べておく 復習：時間内に完成しなかった分は仕上げておく 提出された課題に対して成果や改善点をコメントする	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
14	抽象的概念の形象化（内的世界から外的世界へ） イメージからのメタモルフォーゼ	オンデマンドで実施	配布資料を熟読・理解する	予習：心的イメージと物的イメージの違いを調査 復習：配布資料を参考にイメージを変態させてみる	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	ファッションイラストレーション（着色・仕上げ）	講義 実習：B4イラストボードにブランドイメージを表現する 実習中巡回し チェック・個別指導	ブランドイメージの展開・形象化が出来ている	予習：ブランドを選定しておく 復習：既存ブランドのイメージ広告と自身の作品を比較・検討する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力